

長崎大学 教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース
(3年普通科体育コース生徒)

私は、今回AO入試で長崎大学教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コースに合格しました。

私の志望理由は、中学校の頃から学校の先生になることが夢でした。長崎大学ではこの夢を実現するために必要な能力を身に付けることができ、また、離島・へき地実習などを通じて多くの経験を積むことができると思い志望しました。

試験内容は、1日目に自己表現、2日目に小論文と面接でした。自己表現は15分間教育に関して自らの情熱や適正、潜在する能力をアピールする試験で、私は模擬授業をしました。小論文は、当日に1冊の文庫本が渡され、その第6章から出題されました。時間は90分でした。面接は、15分間の個人面接という内容でした。

2年前に合格者体験発表で、ある先輩が言われていたことがとても印象に残っています。それは、試験前日にある先生とすれ違ったときに、「小論文の高度情報化社会をもう一度見直しておけよ。」といわれたそうです。すると見直したところがそのまま小論文の試験に出た。という話を聞きました。

今回私の受験でも同じようなことがありました。自己表現の構成で悩んでいたときに本田先生から「模擬授業でパワーポイントと黒板の両方を使った方がいいよ。パワーポイントを使うことで生徒が理解しやすくなるし、黒板を使うことで授業の振り返りができるからね。」という指導をしていたことが、とても印象に残っていました。すると、試験当日の小論文のテーマが「デジタル教育に賛成か反対か」であり、面接の内容も同じような質問でした。

私が皆さんにアドバイスをすることは、「チャンスはどこに転がっているか分からない」ということです。また、チャンスは何度も訪れるものではありません。そのチャンスを掴むことができるかどうかで自分の進路実現に大きく近づくと 생각합니다。多くの先生方の話を聞き、アドバイスを受けて勉強をしてみてください。必ず、進路実現に役に立ちます。

私のアドバイスが皆さんの進路実現のために役立ててもらえると嬉しいです。